札幌市東区社会福祉協議会　生活支援体制整備事業広報誌

かけはし

2026
第28号
3月

栄西・栄東・丘珠　地区版

支え合いの仕組みづくりに向けて

～多様な主体との協力・連携～

生活支援体制整備事業では、いくつになっても住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、**多様な主体**（住民組織、ボランティア、NPO 法人、社会福祉法人、民間企業、商工会等）による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築し、地域の支え合いの仕組みづくりを推進します。

住民組織（町内会や福祉のまち推進センター、民生委員・児童委員など）

意見交換会を通して多世代交流！

団地内の困りごと解決に向けて検討

民間企業や地域の関係団体、事業所、商工会など

～スノーキャンドル作り～

企業・団体の地域貢献（地域行事へ参加・協力など）

地域の喫茶店を会場にくらしのサポーター養成講座を開催

NPO 法人
社会福祉法人

行政、介護予防センター、
地域包括支援センター

ちょっとした困りごとの解決に向けた
支え合いの仕組みづくり

多世代の
地域住民

介護支援専門員
連絡協議会

学校・学生

地域行事や町内会活動で高校生がボランティアとして活躍！

スマホのお悩みを学生ボランティアが解決！

ボランティア

得意や好きを発揮！

生活支援ボランティアタッピー（令和元年に結成）や**くらしのサポーター**（令和４年～東区各地区にて養成講座を開催）が出来る範囲で地域のちょっとした困りごとをお手伝いしています。

～鉢の植え替え～

支えつつ支えられる地域づくりを目指して

住民のみなさんをはじめ、町内会などの地域組織、また地域にある事業所や企業などのつながりが広がっています。顔見知りになり声をかけあう関係性が出来始めると、平時の支え合いはもとより、災害時の助け合いにつながることは間違いありません。

その点で、同じ地域に住む方々が、より住みやすい地域づくりに向けて一緒に考え、連携し活動することには、とても大切で意味があります。

人と人、人と情報、人と居場所、人と活躍、人と支援など、支え合いの意識と気持ちをつなぐのも生活支援コーディネーターの役割のひとつです。お気軽にご相談ください。

【マスコットと仲良し】

【高齢者施設の方も参加し一緒におりがみや工作】

つながり

【企業から高齢者住宅へ
車いすの寄附】

【保育園のこともたちと交流 】

【社会医療法人が自主活動グループへ
会場提供】

お寺や中学校にご協力いただき使用できたところも。
それでもまだ会場は不足しています

【社会福祉法人が町内会へ　場の提供】

【お寺の広間でカーリンコン】

地域のみなさんが集まり交流できる場を探しています。

使用していない部屋や空いている場所等をご存じでしたら是非情報提供をお願いいたします。学校など地域に密着した場所の情報もお待ちしております！！

発行・お問い合わせ先　東区社会福祉協議会　電話　011-741-6440
〒065-8612　札幌市東区北１１条東７丁目 1-1　東区民センター1 階
第２層生活支援コーディネーター　**熊谷**（栄西、栄東、丘珠地区担当）